

特定非営利活動法人 きなはれ

第 17 回 通常総会 議案書

日時：2023 年 6 月 3 日（土）10：00～11：30

開催方法：会場開催（対面開催）

開催場所：白石区民センター 視聴覚室

<総会次第>

1. 開会
2. 議長・議事録署名人選出
3. 書面評決書類確認 定足数確認
4. 報告事項
 - 第 1 号議案 2022 年度事業報告および収支決算報告
 - 第 2 号議案 2022 年度監査報告
 - 審議事項
 - 第 3 号議案 2023 年度事業計画（案）および収支予算（案）
5. 議長解任
6. 各事業所より活動発表
7. 閉会

きなはれ 本部事業

1. 総会

2022年6月17日(金) 書面評決により実施しました。

2. 理事会開催

2022年6月17日、10月24日、12月12日

2023年3月10日、4月24日、5月16日 計6回

3. 職員研修会 本部主催

1) 法人主催研修 新任者研修を中心として3回開催【本部】

2) 法人主催 特別研修 2023年2月3日【かでの2・7】

「小山内美智子氏を迎えて 重度心身障がいのある方の生活を知る」講師 小山内美智子氏

4. 職員に関して

<採用>

ヨベル:パート職員1名(2022.8月)

とねっと:正職員1名(2023.3月)

<退職>

ヨベル:パート1名(2022.11月)

とねっと:正職員1名・契約職員1名(2023.3月)契約職員は定年退職

<人事異動>

2023.4 ヨベル⇒とねっと 正職員1名

5. 本部建物修繕について

2023年3月31日付にて 現在本部を置く物件(札幌市白石区東札幌2条5丁目8-13)を北洋銀行南郷通支店、保証協会から融資を受けて修繕。

北海道サービス管理責任者等研修 事業

コロナ感染予防の観点から全日程をオンラインで開催しました。

総受講生は、2,018名でした。

開催月	開催内容(人数)
2022(R4) 4月	更新研修(69)・実践研修(69)
2022(R4) 5月	更新研修(80)・基礎研修(83)
2022(R4) 6月	更新研修(89)・基礎研修(126)
2022(R4) 7月	更新研修(98)・基礎研修(123)
2022(R4) 8月	更新研修(77)・基礎研修(125)
2022(R4) 9月	更新研修(97)・実践研修(24)
2022(R4) 10月	更新研修(45)・実践研修(52)
2022(R4) 11月	更新研修(68)・実践研修(55)
2022(R4) 12月	更新研修(43)・基礎研修(125)
2023(R5) 1月	更新研修(79)・実践研修(76)
2023(R5) 2月	更新研修(91)・基礎研修(127)
2023(R5) 3月	更新研修(80)・基礎研修(117)

ヨベル 就労継続支援B型事業

【重点目標に対する実践】

- A. 高齢化問題も含め、利用者ひとりひとりの実情にあったきめ細かな支援をしていきます。
→様々な課題がある利用者への生活支援、就労支援など個別性を意識した支援を行いました。
全体としては、作業も行いましたが、楽しめるようなプログラムも利用者の希望により多く開催しました。
- B. 関係機関と連携した生活支援を行っていきます。
→相談支援事業所、グループホームなど適宜情報共有やケース会議、同行などを行いながら支援しました。
- C. 「うれし部(仕事)」「楽し部(余暇活動)」の活動を引き続き行っていきます。
→詳細は下記参照 継続して活動しました。
- D. 地域住民との触れ合いの場として café ヨベル(白石まちづくりハウスあと)の活動をおこないます。
→利用者、職員とも来店されるお客様と笑顔で触れ合い、持ち込まれる相談などにも丁寧に対応しました。
- E. 定期的に勉強会を開き、スタッフの支援力を向上させます。
→事業所として定期的な勉強会の開催はできませんでした。しかしながら、支援会議の場などで支援方法について意見交換を行いました。正職員1名が社会福祉主事の資格を取得しました。
- F. 共栄第1町内会、本郷商店街など地域活動を継続し、更に深めていきます。
→行事等はコロナ禍のため開催されませんでした。町内会の清掃行事などには可能な限り参加しました。
- G. コロナ感染予防対策を行いながら、安心安全な事業所運営に取り組みます。
→職員の感染はパート職員1名でした。利用者の感染については数名おりましたが、濃厚接触者などの割り出しも含め感染が拡大しないよう留意し対応しました。

【運営体制と支援】

1. 事業体制・職員体制

主事業所:本通4丁目 ヨベル 従たる事業所:café ヨベル(ヨベル白石まちづくりハウス)の二か所で運営を行います。職員体制は、所長・サービス管理責任者兼務1名、生活支援員1名、職業指導員1名、パート職員2名(職業指導員1名は事務兼務)です(2023.3末現在)。障がい当事者職員を雇用しましたが、体調不良のため退職されました。

2. 利用者実績

項目	2021(R3)年度	2022(R4)年度	備考
定員	20名	20名	増減なし
登録者数	17名	20名	2022年3月末現在
平均利用者数(名/日)	13.6名	15.4名	土曜を除く実績
見学者数	17名	7名	
新規登録者数	5名	3名	
退所者数	8名	1名	事故による死亡のため

3.うれし部活動(仕事面)

事業所の内外で仕事を行います。地域の方々とながら、利用者の可能性を広げること努めました。

- ① 法人支援の作業を行っていきます。(広報誌作成、HP 更新・サビ管研修会資料作成・サビ管研修会場清掃等)
- ② 事業所内作業として企業等からの請負作業, 印刷
- ③ 事業所外作業としてJR白石駅前花壇の美化
- ④ ヨベル白石まちづくりハウスにて カフェ事業。
- ⑤ 自主製品制作(木工製品、手工芸製品、ダンピー(生ごみたい肥化セット))

4. 就労支援

- ① 将来的に一般就労を望む利用者に対し、他機関と連携し、就労アセスメントの視点を持って支援しました。

5. 生活支援

- ① 病気や障がいにより生活に困難さを感じている利用者には、面接・訪問・同行などの支援を行いました。
- ② 必要に応じて家族面談や医療機関・相談支援事業所等とのケース会議を持ち、情報の共有、役割の確認を通して支援体制を充実しました。

6. プログラム

- ① コミュニティミーティング:毎週金曜日 午前中
- ② たのし部活動:簡単料理教室、簡単お菓子教室、外出プログラム 等 一人一人のやりたい、楽しみたいを大切に少人数での余暇活動を開催しました。
- ③ 事業所の全体行事として、歓迎会、クリスマス会、餅つきなどを利用者とともに企画し開催しました。

7. 地域との関わり

コロナ感染拡大の影響を受け、地域活動は中止となりました。

8. 職員研修

JCネット ジョブコーチ養成研修、自立支援協議会白石地域部会、法人内研修 など 随時 職員の資質向上に努めました。

9. 啓発

大学、専門学校より実習生、一般よりボランティアを受け入れました。

就業・生活応援プラザ とねっと 運営事業

〈事業計画〉

2022年度の就業・生活応援プラザとねっとは、就業・生活相談支援を新型コロナウイルスの感染防止を徹底しながら活動を展開してきました。また、拠点事業として札幌市内の就業・生活相談事業所(就業・生活支援センター一合)の取りまとめや札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の運営委員・事務局として新型コロナウイルスの感染予防を中心とした情報の共有化等を行いました。

さらに、障がいのある方の交流スペース「わーくカフェ ジョイン」の活動も、新型コロナウイルス感染防止を徹底し、活動を進めてきました。

〈重点事項〉

2022年度 就業・生活応援プラザとねっとでは、

- ① 就業・生活相談事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、相談が途切れないように支援を行いました。
- ② 就業支援においては、合理的配慮、障害者虐待防止を意識しつつ企業と、相談者それぞれの支援に立った支援を行いました。
- ③ 生活支援に関しては、制度を活用した支援のみではなく、直接的な支援も意識・行動し、支援に努めました。
- ④ わーくかふえジョインの活動を新型コロナウイルスの感染予防に十分に配慮しながら、活動を展開しました。
- ⑤ 札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の事務局として会が円滑に進むよう努めました。

〈職員体制〉

9名(センター長1名・就労・生活支援員3名・事務員1名・プロモーター1名・ジョブサポーター2名、事務補助員1名)体制で行いました。

〈就労支援事業〉

2022年度は①就業者個々人の課題に応じた就労支援、②就業継続のための支援、③他機関と連携した就労支援を、新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら、相談支援を行いました。また、支援にあたっては、合理的配慮、差別禁止法を意識し、企業・相談者両方の視点に立って支援を行いました。

〈就労支援ネットワーク構築〉

ネットワーク構築では、「札幌市自立支援協議会就労支援推進部会(以下、就労部会)」の活動を中心に、2022年度もzoomを活用し、以下の活動を行いました。

7月5日～札幌市自立支援協議会就労支援推進部会定例会、学習会

11月11日～就労部会、NPO 法人ジョブコーチネットワーク共催「発達障がい就労支援セミナー in 札幌」

3月1日、2日、3日、6日～就労部会、NPO 法人ジョブコーチネットワーク共催「職場適応援助者養成研修 in 札幌」

その他、就労部会運営員会、札幌市就業・生活相談事業連絡協議会の定期開催

<生活支援>

2022 年度は、関係機関と連携しながら、各種年金申請への動向や生活保護課への同行等、金銭管理等登録者への直接的な生活支援を継続して行いました。

<研究事業>

2022 年度も 2021 年度に引き続き、札幌市自立支援協議会就労支援推進部会をと連携し就労継続支援事業所 B 型に関する調査研究の分析を進めていきました。

<地域活動支援事業(わーくカフェ ジョイン運営)>

2022 年度も昨年と同様、働く障がい者同士の交流の促進、当事者による当事者への支援を促進するための場としてわーくカフェジョインの運営を行います。また、活動に関しては、新型コロナウイルス感染予防を意識して、できるだけ密にならないような環境づくり、また zoom 等を使用したオンラインでのプログラム等を行っていきます。

相談件数 4031 件(内ジョブサポーター支援 579 件)、就職件数 28 名、離職件数 22 名、新規登録 51 名

わーくカフェジョイン

年間利用者数(電話相談含む):961 名 総開所日数:203 日 平均利用者数:4.7 名

主な活動

・茶話会(zoom)、なんでもミーティング(zoom)、精神障がいを語る会(zoom)、WSA(働く障がいアノニマス: zoom)
働く当事者による講演活動(北海道大学、札幌医科大学等)

ジョイン外出企画

7 月 15 日	円山動物園
7 月 20 日	サンピアザ水族館
8 月 4 日	古代エジプト展
8 月 17 日	青少年科学館
9 月 12 日	札幌ドーム
9 月 22 日	大倉山ジャンプ競技場

10月14日	芸術の森 謎解き
10月26日	NHK 見学
11月4日	北大紅葉&総合博物館
11月21日	厚別陶房
12月8日	年末詣
12月21日	ホワイトイルミネーション
1月11日	お餅つき
2月8日	雪まつり&テレビ塔
3月3日	ふい〜るランチ会

白石障がい者就労センタースカイ運営

2022年度スカイは、障害者総合支援法に基づき就労移行支援、就労継続B型事業、就労定着支援事業を継続して実施いたしました。

<2022年度の所感>

新型コロナウイルスの感染者が相次ぎ、スカイでは年間で合計11名発生いたしました。幸いにも重症者の発生はなく、全員活動の場に戻られております。

一般就労者3名、他事業所への移行者が4名、計7名の方が次のステージに向かい卒業されました。

社会全体の様々な制限が緩和されていくとともに、日々安心して集団活動が可能である場が確保されることを願い、今年度も歩んでまいります。

1. 職員体制(2023年3月末)

職員 9名 (常勤職員6名・パート3名 うち1名本部兼任)

2. 利用者状況 3月末現在の状況

項目	実人数		備考
	移行支援	B型支援	
登録者数	16名	13名	精神、発達、身体、知的 など
新規登録者	2名	4名	2022年度新規登録者 (見学4名・学校卒2名)
B⇒移行	2名	0名	Bから移行への転籍
移行⇒B	0名	1名	移行からBへの転籍
退職後再利用	0名	0名	職場を退職し、スカイでの通所再開
退所者	0名	3名	就職以外 (他事業所・自宅)
見学者		22名	内体験者 6名 新規登録者 3名
就職者 (一般)	3名	0名	
就職者 (A型)	2名	0名	
就職者 (B型)	0名	2名	他事業所へ

<訓練等給付非対象者の受入れ>

1名 (休業中のリハビリ通所のため)

<就業者の定着状況> ※A型を除く

2012年4月～2022年度末 就職者数68名内2023年3月末現在同一企業での就職継続者数28名

直近:2022年4月～2023年3月末就職者数3名 内2022年3月末現在就業者 3名 定着率100%

＜平均利用者人数＞ （1日当たりの平均実利用人数：2022年度 目標 移行 10名 B 6名）
1日当たりの平均実利用者数実績：移行 10.6名（達成率 106%）B 5.3名（達成率 88.3%）

＜特別支援学校からの実習＞

白桜高等学園・札幌高等養護学校・小樽高等支援学校（卒後利用に繋がる）

3. 開所日・開所時間

*スカイ開所日：2022年4月1日～2023年3月31日 月～土 9：00～17：00

水曜 半日 ミーティング、プログラム、レクリエーション等

*コミュニティキッチンふいーる 営業時間：2022年4月1日～2023年3月31日 月～土
11：30～16：00

※（新型コロナ感染者数の傾向から時短時期もあり）

4. 事業内容

＜就労支援＞

A. 事業所内での就労に向けた訓練

1. コミュニティキッチンふいーるチーム： 厨房作業、フロア作業、配膳作業、清掃作業など。
2. 雑務・下請チーム：わらく堂等からの箱折等軽作業、制服アイロンかけ、つまみ細工つくり・店内飾りつけ制作など。
3. 事務チーム：ふいーる売上管理、メンバー給与管理、各種アンケート集計受注、サービス管理責任者研修関連の事務、就業体験事業報告書作成など。
4. その他 地域活動

昨年に引き続き、町内会活動は全面的に中止。白石ネットでの宿根草作業（花壇の手入れ）に継続参加。

B. 各種プログラム

1. 就労プログラム 毎月1回 水曜日 10：00～12：00
（含む 就職者報告会 対面開催にて実施）
2. PCプログラム 開催なし
3. 軽やか体操 毎週木曜日 13：30～15：00 （完全対面実施）
4. コミュニティミーティング 毎月第4水曜日（集団精神療法を意識した実施）

C. 個別支援計画・アセスメント・モニタリング

1. スケジュールを立てて個別支援計画・アセスメント・モニタリングが行いました。
2. B型アセスメント、就労アセスメント（短期）を行いました。

D. 施設外支援・就労、企業実習

白石区役所食堂（食器洗浄）実習
ベースクリエート（パンの仕分け）実習
個別メンバーに対応した実習

E. 就労後支援

個別面談・職場訪問、職場調整、電話相談、来所相談、関係機関とのケース会議、退職支援 等

F. 連携

必要に応じて、各関係機関と共に 会議・支援を行いました。

<生活支援>

個別に必要なに応じて生活支援を行いました。

障害年金申請相談、生活保護課・保健福祉課同行、診察同行、家庭訪問、後片付け 等

<地域活動>

※前々年度、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、地域活動への参加機会がありませんでした

<啓発>

大学講義：札幌医科大学（看護、作業療法）・北海道大学（看護）

実習生受入：札幌心療福祉専門学校（以上精神保健福祉士取得のため）・札幌医科大学（看護・作業療法）

<職員研修>

サービス管理責任者研修

JC - net 主催の養成研修

自立支援協議会開催研修

職業センター開催の支援者研修

若者支援者の集い（サポステ）

法人内研修

<参考資料>

コミュニティキッチンふいーるの営業について

(2022年度 来客者 1850名 開店日 230日 平均来店者数 8名 弁当 617食 おせち 60セット)

(2021年度 来客者 1641名 開店日 241日 平均来店者数 7名 弁当 620食 おせち 70セット)

(2020年度 来客者 2061名 開店日 239日 平均来店者数 8名 予約 53件 おせち 71セット)

(2019年度 来客者 3339名 開店日 229日 平均来店者数 14名 88件 おせち 64セット)

5. 行事報告

月	スカイ レク等行事	ふいーる	開店日数	ご来店者数
4月	2022年度 方針説明会	弁当予約等 45食/団体予約 1組	21日	206名
5月		弁当予約等 40食	20日	157名
6月		弁当予約等 68食/団体予約 2組	20日	159名
7月		弁当予約等 52食/団体予約 1組	22日	138名
8月		弁当予約等 32食	21日	107名
9月		弁当予約等 55食/団体予約 2組	20日	157名
10月	厨房メンバー企画 レクリエーション	弁当予約等 50食/団体予約 1組	20日	181名
11月	フロアメンバー企画 レクリエーション	弁当予約等 50食/炊き出し参加	20日	156名
12月	クリスマス&忘年会 おせち作成	弁当予約等 59食/オードブル 1食 おせち 60セット	17日	161名
1月		弁当予約等 45食/研修軽食 30食	18日	147名
2月		弁当予約等 55食/団体予約 2組	17日	133名
3月	就労プログラム企画 就職者講演会	弁当予約等 66食/団体予約 1組	14日	148名

6. 施設改修

3月16日～26日の期間、事業所内改修工事を行いました。(レストランはその間休業)